



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年7月24日 第29号

発行者：校長 伊藤 俊

## 終業式校長講話 一個性を認める一

7月4日の報道で、石巻地区の中学生の減少に伴い、来年度から本校の学級減が報じられました。新年度入学生から4クラスになります。

特に生徒の学習面や部活動において支障が出ることはありませんので、安心して高校生活を続けてください。クラス数が減少することで、生徒ひとりひとりの顔が見える個別指導が可能になると前向きにとらえています。

さて今日は、本校非常勤職員の瀧田さんについてです。瀧田さんは障害があり不自由な歩行にもかかわらず、学校行事等でいつも君たちの様子をデジカメにおさめ、HP上で紹介していただいています。おそらくその姿を目にすることもあったかと思います。情報・ITに関する高い技術を生かして、ホームページの管理や進路指導の業務を担っていただいています。私達も瀧田さんのできる範囲内で、しかもその高い技術を生かせるように仕事をお願いしています。実は、私も障害がある方と一緒に仕事をする機会は初めてでした。どのように接したら迷ったことも確かです。しかし、健全な人の尺度では劣る部分もあるかもしれませんが、私達にはない優れた点を認めるような自然な気持ちで接しています。

現在西高には障害者手帳を持つ生徒は学んでいません。しかし、大学に行ったり、社会に出ると、障害がある方々と一緒に学んだり働くことになります。そこでお互いにWIN・WINの関係であるためには、今話した、優れた点を認める気持ちや、少しの寛容さを持って肩の力を抜いて、一緒に働いていけば良いのだと思います。

先日のニュースで、ある航空会社が、自力で搭乗できる人のみ搭乗させる、というマニュアルを基に、「自力で搭乗するから」という障害者を、自力でタラップを登らせたという報道がありました。それを見守っていた航空会社や飛行場の社員の心情は決して穏やかではなかったでしょう。その障害者の方も、事前連絡による介助制度を知っていながら、敢えて利用しなかった旨のコメントを残していました。どちらが正しいということはないと思いますが、違和感を覚えるニュースでした。

障害の有無、日本人かどうか、仕事ができるかできないか、場の雰囲気を読めるか読めないか等様々な人々と付き合わなければなりません。ひとつの尺度だけで判断するのであれば人工知能の得意とするところです。相手の個性、長所、違いを認めさらに寛容な気持ちを持ちながら接する。我々人間にしかできない能力だと思います。是非そんな能力をさらに身に付けて欲しいと願っています。

## 夏休み前最終授業 一チーム西高一



〈1年生水による活動〉



〈2年生学年ポロシャツ〉



〈3年生長縄跳び〉

7月21日(金)4校時、夏休み前最後の授業を見て回りました。1年生はLHRの時間で水を使っている活動。大声をあげながらクラス内外の交流を深めていたようです。3年生のLHRは講堂で学年全体行事。ぞうきんがけリレーやクラス対抗長縄跳び競争でクラス・学年全体の団結を図っていたようです。

19日(水)にLHRの時間として保健講話を行った2年生は普通通りの授業でした。びっくりしたのは、授業を行っていた先生方が学年主任の石垣先生の顔がデザインされたお揃いのポロシャツを着ていたことです。2年生の先生方は夏季課外講習でもこのポロシャツを着るそうです。

3年生は進路の季節です。特に最近A0入試関係の書類や小論文・面接の指導のことで職員室に来る3年生を多く見かけます。皆さん真剣な表情です。

進路は進学だけでなく、9月に入れば就職試験も始まります。進路は十人十色です。受験は基本的には個人戦ですが、団体戦的な側面もあります。クラス、学年、学校が一丸となって学習する雰囲気がとても大切です。西高全体に「真剣に取り組む」という雰囲気があれば、「もうやめよう」と思った生徒も「もう少しやろう」という気持ちになり、互いが高め合おうとします。その結果、この雰囲気ができていない集団に比べて、比べ物にならないほど結果が違ってきます。

我々はチーム西高です。学校全体で「真剣に学び合う」雰囲気を作りましょう。

※夏休み中は実況中継はお休みしますが、臨時増刊号等はHP上で公開します。基本的には次回号は夏休み明けの8月25日以降となります。皆さん元気な姿で8月25日にお会いしましょう。

